

トルコ金融政策（2020年9月）

2.00%ポイントの大幅な利上げを実施

2020年9月25日

2018年9月以来の利上げ

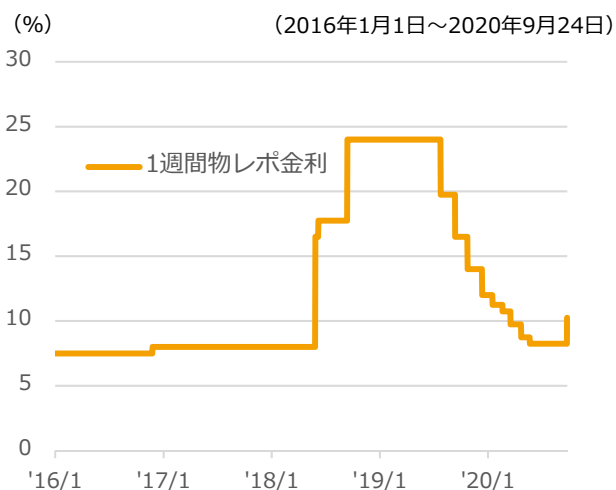
トルコ中央銀行は9月24日（現地）、政策金利（1週間物レポ金利）を8.25%から10.25%に2.00%ポイント引き上げることを決定しました。予想外の利上げとなったため、発表直後はトルコ・リラ高が進行しました。

トルコ中央銀行は声明文で新型コロナウイルスの感染拡大により経済は落ち込んだものの、その後の景気回復が早く進んでいることから、インフレ率が予想以上に加速していると述べています。また、トルコ中央銀行は8月以降実質的に金融引き締めを実施していますが、インフレ期待の抑制のために引き締め措置を強めるべきだと判断したと利上げの理由を説明しています。

足元では新型コロナウイルスの感染拡大によりトルコ経済が落ち込んだことや、実質金利がマイナスであることなどからトルコ・リラ安が進行しています。トルコでは通貨安を食い止めるため通貨防衛を行った結果、外貨準備高の減少が目立っておりさらなる通貨安への警戒感が高まっています。

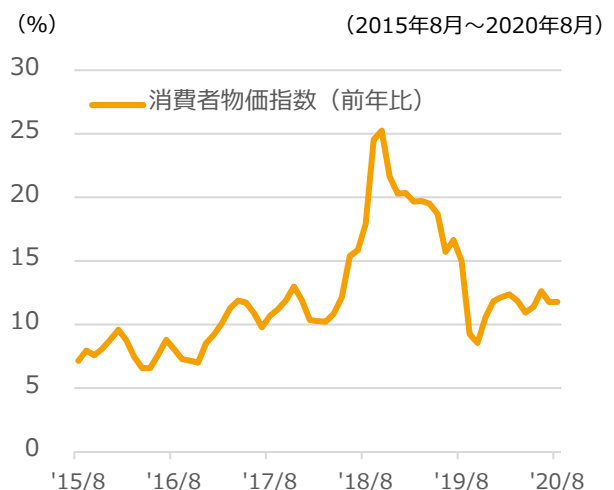
また、新型コロナウイルスに関しては感染者数が足元増加基調となっており、政府は感染拡大抑制策を導入したものの、増加のペースは鈍化しておらず封じ込めは難航している状況です。利上げを実施したことはトルコ・リラのサポート要因になるものの、新型コロナウイルスの感染者数や外貨準備高の動向によってはトルコ・リラの下落圧力が強まることが予想されるため、状況を注視する必要があると考えます。

政策金利の推移



(出所) ブルームバーグ

インフレ率の推移



(出所) ブルームバーグ

当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。